

## 「秋ヶ瀬公園のチョウジソウを楽しむ！自然観察会」報告



日時：2024年5月6日（月・祝）10：00-15：20

天候：曇り

場所：秋ヶ瀬公園ピクニックの森/田島ヶ原サクラソウ自生地/サクラソウ補完地

参加者：久保、芳野、池田、石井、沖本、近江、河野、木口、黒川、関谷、田川、辰尾、横山、渡辺、毛利（15名）

報告：毛利

### 10:00 - 11:30 秋ヶ瀬公園にて自然観察（講師：久保）

観察コース：炊飯場（スタート）→南池→奥の道→中池→堤池→北の道→表の道→スギの小径→中の道→南の道→炊飯場（ゴール）

炊飯場をスタートして程なく淡いブルーの可愛らしい花をつけたチョウジソウ（左下写真）がお目見え。その後、昨年ハンノキを植樹した場所を見学。公園内にハンノキは沢山生えているとのことだが、ミドリシジミ（埼玉県のチョウ。1991年に指定）が利用できるのは、その中でも若木とのことで植樹を進めているとのことだった。途中、ピンクテープが巻かれた伐採予定のハンノキ林も通った。ハンノキは切株更新も可能なようなので、伐採した後どのような状態になるのか継続して観察したいと思った。そして行く行くは空を舞うミドリシジミ達とも対面したい。

#### <観察した樹木>

ハンノキ、ケヤキ、ヤマグワ、ニセアカシア、シャリンバイ、トベラ、アキニレ（ベニマシコが大好き）、ミズキ、エノキ、カマツカ（ウシゴロシ）、メタセコイヤ、ラクウショウ、エノキ、オニグルミ、イボタ（シジミの成虫が吸蜜）、ハチク、など

#### <観察した草本>

チョウジソウ、オヘビイチゴ、ケキツネノボタン、ウマスゲ、カサスゲ、イヌナズナ、など



## 12:00 - 13:30 ネイチャーゲーム体験（講師：芳野）

昼食後、炊飯場脇の広場にて4種類のネイチャーゲームを体験。

ネイチャーゲームとは米国のナチュラリスト ジョセフ・コーネルによって1979年発表された五感を使って自然を直接体験するプログラムのこと。

- ・ **ドングリじゃんけん**：2人でじゃんけんをし、勝てば相手のドングリを1個もらえる。手持ちのドングリが無くなっても、制限時間迄はじゃんけんに参加し続けられる。
- ・ **ノーズ**：リーダーがカードに記載されている生き物のヒントを読み上げ、答えが分かった人は自分の鼻に指を置く。大体の人が鼻に指を置いた所で、皆で元気な声で答えあわせ。
- ・ **ビンゴ**：数人のグループを作り、自然の中で見付けられるもの（クモの巣、きのこ、チクチクするもの、など）が書かれたビンゴカードを手に該当するものを探していく。
- ・ **目隠し芋虫**：何名かのグループに分かれ、目隠しをして前の人の肩に手を置きグループ全員がつながった状態になり、リーダー（目隠しをしていない）が先導し、目隠しをしたまま自然を感じながら歩き回る（木の幹に触れる、葉を触る、など）。
- ・ **カモフラージュ**：自然の中にリーダーが隠した人工物を見付けるゲーム。ここから自然界の昆虫のカモフラージュへと話がつけられる。

どれも初めて経験するゲームだったが、大人ですら大盛り上がりだったので、子どもであれば尚の事、目を輝かせて面白がるに違いない！と思った。



ノーズの模様

## 13:30 - 15:20 サクラソウ観察（講師：久保）

秋ヶ瀬公園に隣接する田島ヶ原サクラソウ自生地（特別天然記念物）およびサクラソウ補完地にてサクラソウ等の観察。1週間前に講師が下見した時に比べ、ヨシが成長し、田島ヶ原では残念ながらサクラソウを見付けることができなかった。自生地を一回りし、様々な植物を観察、その後車でサクラソウ補完地に移動した。サクラソウ補完地に着いた時には小雨が降ってきたが、遂に、草丈の高い植物の足元にひっそりと咲くサクラソウを発見！皆で本日の集大成として思い思いに写真に収めた。

<田島ヶ原で観察した植物>

スイバ、レンリソウ、トダスゲ、アマドコロ（実、花）、クサフジ、イボタノキ、オドリコ

ソウ、クララ、エキサイゼリ、など

やっと出会えた！サクラソウ達



講師を務めてくださった方々、参加の皆さま、長時間、お疲れ様でした😊

